

平成 27 年度 第 18 回 数理分子生命理学セミナー

日時：平成 27 年 11 月 4 日 (水) 14:35～

場所：理学部 E211 講義室

講師：上脇 隼一先生 (広島大学大学院数理分子生命理学専攻
クロマチン動態数理研究拠点・研究員)

演題：タンパク質に含まれる天然変性領域の役割

要旨：タンパク質はそれぞれ独自の立体構造を持ち生体内で働いている。それらの中には天然変性 (intrinsically disordered: ID) 領域と呼ばれる明確な立体構造を持たない領域を持つタンパク質も存在している。近年、ID 領域はタンパク質の機能発現に重要な役割をしていることが明らかになってきており、研究が盛んにおこなわれている。

現在、私たちは ID 領域をもつクロマチンリモデリングタンパク質 FACT の研究を行っている。FACT の ID 領域はリン酸化修飾を受けることにより、その機能が制御されることが報告されている。

本セミナーでは私たちが現在行っている FACT の研究に加え、他の ID 領域をもつタンパク質の研究についても紹介する。